

戦略的プロジェクト研究推進事業

「民間事業者等の種苗開発を支える「スマート育種システム」の開発」

研究概要図

中課題番号	18063602
中課題名	育種ビッグデータの整備及び情報解析技術を活用した高度育種支援システムの開発
研究実施期間	平成30年度～平成34年度（5年間）
代表機関	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 （次世代作物開発研究センター）
研究開発責任者	米丸 淳一
研究開発責任者 連絡先	TEL：029-838-7135
共同研究機関	<p>国立大学法人神戸大学</p> <p>国立大学法人東京農工大学</p> <p>国立大学法人東京大学大学院農学生命科学研究科</p> <p>地方独立行政法人北海道立総合研究機構</p> <p>長野県農業試験場</p> <p>栃木県農業試験場</p> <p>福岡県農林業総合試験場</p> <p>国立大学法人佐賀大学</p> <p>株式会社ケツト科学研究所</p> <p>国立大学法人京都大学</p> <p>国立大学法人名古屋大学</p>
農林水産省内 本事業担当	農林水産技術会議事務局研究開発官（基礎・基盤、環境）室 代表：03-3502-8111（内線5870）

研究内容

- ・複数地域および環境で取得した表現型データのオントロジーに基づくデータベースとゲノム選抜 (GS) ツールの開発
- ・表現型データの効率的な取得手法の開発
- ・人工知能 (AI) などを活用した育種選抜支援システムの開発

研究背景

- 【流通加工業者】
安定した収量および品質
(高い加工適性)
- 【農家】
気象変動に対応した
主要農作物品種
- 【種苗会社】
育種素材およびノウハウ不足における新規参入の壁

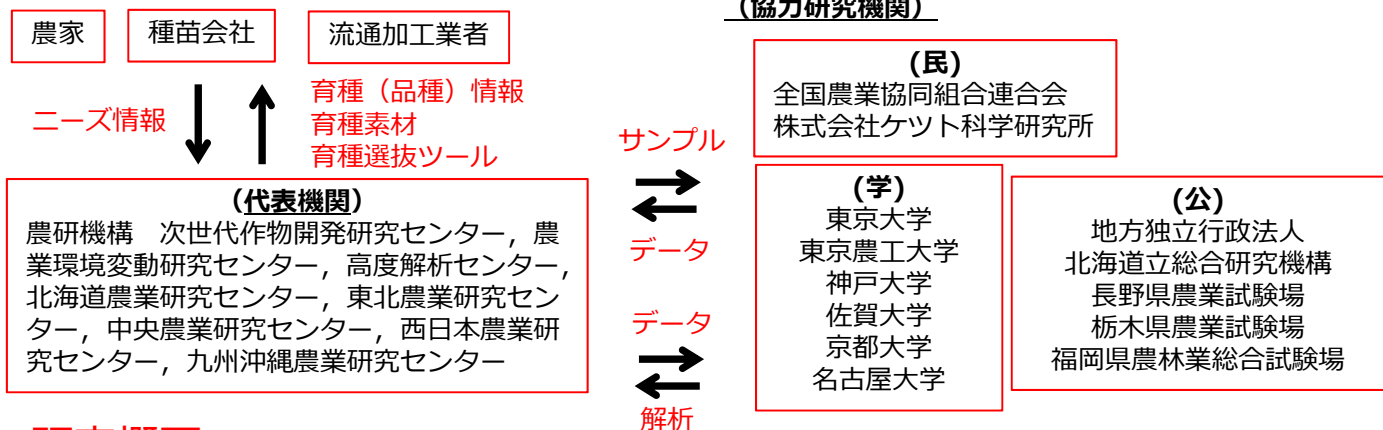
アウトプット

- 育種素材
育種ビッグデータ
ゲノム選抜(GS)ツール
(Webサービス)
- 表現型予測手法
- 育種選抜支援システム

アウトカム

- 気象変動に強く、
多収で優れた形質
を示す品種
- 効率的な
育種選抜手法

研究連携体制



研究概要

